

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	15名
部会名	PTA副会長の部(小A)		助言者	望月 力(鷹岡小)
司会者	橋本 仁(伝法小)		記録者	伊東 巧(吉永一小)
テーマ PTA役員を選出について				
会議概要				
富士第二小 副会長から会長になる人を選出。直接願います。本部役員ではないが。クラス役員・地区役員など、ポイント制を導入している。				
田子浦小 クジ引き。3年任期。				
岩松小 地区ごとに選出。2年任期。女性が多い。				
広見小 地区ごとに選出。2年任期。1年目から副会長となるため、分からないことが多い。				
丘小 現会長が1本釣り。クジ引きの場合もある。				
富士南小 新4年生以上にアンケートを実施し選出する方法に変更する。現会長は1本釣り。				
天間小 新4年生から役員を選出。アンケートも実施している。				
岩松北小 現会長の1本釣り。男性が多い。				
富士中央小 3年任期。1年目は分からないことが多いため、副部長からとし経験をつむ。会長以外は全て女性。3年生以上の子供がいる家庭を対象に立候補を募る。昨年は4名の立候補者がいた。平成33年まで役員選出については決まっているが、毎年立候補者を募っていく。				
富士川第一小 会長は1本釣り。副会長から選出する。子ども1人につき役員を1年する決まりがある。				
富士川第二小 5つの地区から選出。子ども1人につき役員を1年する決まりがある。アンケートをとっているがいつも0である。過去に会長を1本釣りで決定した後に「会長をしたかったのに立候補をする機会が無かった」との声があった。今後このようなことが無いようにするため、PTAに興味がある人を募るアンケートを実施するようにしている。				
学校PTAと子供会の関係について「PTAと子供会は別で、どちらかの役員を受ければ良いとなっている学校や、PTA役員が決定してから子供会役員を決める学校もある。もっとお互い連携できれば。」という意見も合わせて出た。				
総評(望月校長先生):沼津市のある学校ではPTAと子供会を合体したりと、新しい形も出てきている。コミュニケーションを密にとることが大事。コミュニケーション(保護者と先生)がうまくいっている学校は荒れない。中学校区単位でコミュニケーション取れるようになるともっと良い形が見えてくるのではないかと。あと、ポイント制など新しい形を色々提案することも大事なことです。				

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	14名
部会名	環境整備部 小学校の部 A	助言者	岩松北小学校 校長 和田 精吾	
司会者	岩松北小学校 PTA会長 笠井 俊幸	記録者	富士南小学校 PTA会長 長久保 仁	
テーマ				
1. 奉仕作業について				
2. 古紙回収について				
会議概要				
1. 奉仕作業について				
① 奉仕作業を一年間で何回行っているか？				
奉仕作業を年2回行っている学校が多数でしたが、基本的には2回とも参加して頂くように、				
お願いをしているが、1回目の参加率は良いが、2回目の参加率が良くない傾向がある。				
(参加していない方は、ほぼ2回とも参加をしていない様子。また、子供がいる6年間一度も参加				
していない方もいる。)				
体育館等の利用者の方にも、奉仕作業に参加して頂いているという、非常に協力的で参考になる				
回答もありました。				
② 奉仕作業は雨天中止になりますか？				
中止・延期と各校半々でした。(中止の意見：次の日程の調整が他の行事と重なって難しい。)				
③ 奉仕作業の参加率を上げるためにはどのようにしたら良いか？				
各担任の先生の出欠表(参加表)の回収の仕方によって多少の変化があるようです。				
④ 奉仕作業時の各作業場所の指示等や他の作業場所との対応をどのように行っているか？				
各作業場所に、担当者(経験者)をおいて、電話連絡にて対応を行う事がもっとも効率が良い。				
(経験者として、先生についてもらうのが最も良い。)				
⑤ 奉仕作業場所はどのように決めているのか？(分担の仕方)				
学年ごとに作業場所を決めていたり、地区ごとに毎年作業場所が決まっていたり、6年生を中心に				
決めているところ等、各校それぞれでしたが、最終的には参加人数により調整をして行ってる。				
(奉仕作業の中で、トイレ掃除を嫌がる方が多いので交代制で対応している学校が多数。)				

まとめ：奉仕作業については、一年間で2回行っている学校が多かったのですが、1回目に比べて2回目の参加率が良くないので、これからの参加率を上げていくためには、どのようにしたら良いのか検討致しましたが、最終的には参加して頂く保護者の方々のPTA活動（奉仕作業）への興味であったり、協力しようと言う気持ちが一番必要だと思います。非常に難しい課題ではありますが、今まで通りPTA会員一人一人に協力の呼びかけなどを地道に行い、少しずつ関心をもってもらい、理解をして頂く事が何より今出来る最善策かと思われま

2. 古紙回収について

① 古紙の回収体制及び方法はどのように行っているか？

地区と子供会とPTA別々に行っている。(収集場所が同じなので、古紙がいっぱいになって困る。)

リサイクルBOX等の影響により、収集量が減少している。

地区によって収集量に変化がある。(回収方法：地区ごと)

地区ごとに収集しているが、回収方法がそれぞれ異なっている。

町内会単位で収集を行い、各収集場所にトラックを使用して回収を行っている。

古紙回収を年2回行っていて、回収日が重ならないように子供会とPTAが日程を調整して、行っている。

校内にて回収BOXを設置している。(子供達に古紙を持たせている。)

各校アルミ缶の回収も行っている。(収集量に関しては古紙に比べてまだまだ少量。)

まとめ：古紙回収については、各校それぞれ回収の方法によって回収率が異なるようですが、今現在いろんな箇所にリサイクルBOX等が設置されている中、若干の減少はみられますが、それなりの回収は出来ている様です。これまでの回収率を継続していく事は、大変な事ではありますが、地区（町内等）とPTAがうまく連携していく事で、今まで同様の回収が可能になるのではないかと思います。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	14名
部会名	環境整備部(小B)	助言者	富士川第二小学校 斎藤隆裕校長	
司会者	吉原小学校 加藤愛一郎	記録者	青葉台小学校 望月紀志	
<p>テーマ</p> <p>●古紙回収、美化活動の運営方法の良い点、悪い点。</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>○古紙回収について</p> <p>各校のやり方と回収方法について話し合い、問題点について意見交換をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラック等の車輛の手配に苦勞。 (PTA以外に依頼し謝礼を渡す等) ・地域の回収方法と連絡方法。 (FairCast等の活用・電話での連絡網・メール配信等) ・リサイクル業者の選定。 (日程調整・金額・搬入経路等) ・古紙回収時の回収品目の種類。 (古紙・アルミ缶・古着等) 参考・・・ベルマーク等 ・回収期間と場所の選定。 (学校・近隣の空き地・コンビニ等) 				
<p>○美化活動について</p> <p>各校の美化活動の内容と備品管理について話し合い、問題点について意見交換をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車輛・機械や人の手配に苦勞。 (トラック・機械の手配及び取り扱い出来る人材確保等) ・機械・備品の管理及びメンテナンス。 (先生任せ・PTAの出来る人・業者依頼等) ・安全面での注意。 (機械、高所でのケガ・熱中症対策等) ・奉仕作業範囲。 (校庭緑地・校舎周辺・トイレ・床拭き・校舎内壁塗り等) ・発生ゴミの処分方法。 (環境クリーンセンター・PTA会員の私有地等) 				
<p>まとめ</p>				
<p>○各校環境整備部のメイン事業である古紙回収・美化活動の共通の問題点として。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の作業についての決行判断が難しい。 (参加者の体調管理等) (順延日の調整・関係連絡先への連絡等) (決定後の天気の変更等) ・安全面への配慮が難しい。 (車輛出入り・機械の取扱い等) (熱中症対策・飲み物用意等) <p>●上記の内容に対して各校が参考にして取入れたい事項などが多く良い意見交換の場となりました。</p>				

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	19名
部会名	環境整備部 中学校の部	助言者	吉原北中 川口 壽彦 校長	
司会者	吉原東中 小松崎 修	記録者	田子浦中 村瀬 肇	
<p>テーマ 資源回収活動の現状と課題。</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>はじめに、各校の部長の自己紹介と、環境整備部の活動内容が、発表された。</p>				
<p>古紙回収を年1回実施している学校は、16校中2校</p>				
年2回		5校(岳陽中は、古紙BOXを指定場所に置く。)		
年3回		4校		
年0回		4校(アルミ缶回収のみを行っている3校。)		
(環境整備協力金を集金している。1中)				
年間古紙回収BOXを置いて集めている。須津中				
<p>学校によっては、同時にアルミ缶、ペットボトル、インクカートリッジ等も集めている。</p>				
<p>収益は、学校によって、年間5万円ぐらいから60万円ぐらいと思われ結構、差がある。</p>				
<p>それは、回収する物、回数、量、回収方法によるところが大きいと思われる。</p>				
<p>問題点として、古紙の量が年々減少している。</p>				
<p>参加活動する人員が少ない。活動に対する意識の差、不公平感がある。</p>				
<p>車で搬入する際、車と子どもたちと接触しそう。</p>				
<p>天候に左右される。</p>				
<p>助言者の先生から、地域性や学校の実情に合わせて、より良い方法を模索して活動してみても、 とのお話をいただきました。</p>				

校内の樹木の剪定、草取り、ペンキ塗り、等の奉仕作業は、全ての中学校で行われています。

ほとんどの学校は、9月の第一日曜日の前（6～9月）に行っている様です。

問題点としまして、参加人数が少ない。

トラックと運転手の確保。

トラックの御礼をどのようにするか。

怪我や事故時の、保険はどうするか。

最近、オートマチック車でも事故が多く、マニュアル車に不慣れな方も多くなって来た。企業でも事故を心配して、貸していただけない所も多い。（交通事故はPTA保険は使えないはず。）

地域の中、PTA会員の中で、トラックを貸していただける方を探して、確保して行きたい。

奉仕作業時の怪我等は、PTA保険の対象になるが、草刈機による重傷事故もないとは言えない。その様な事故に対応した保険もあるらしい。

いずれにせよ、安全第一を常にこころ掛けたい。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	14名
部会名	生活指導部(小学校A)	助言者	宮川 貴志(天間小学校)	
司会者	植松 倫樹(富士第一小学校)	記録者	石井 裕之(富士川第二小学校)	
<p>テーマ</p> <p>① スマホ・携帯電話の児童の使用状況</p> <p>② かけこみ110番</p> <p>③ 自転車の乗り方・講習会</p>				
<p>会議概要</p> <p>① スマホ・携帯電話の児童の使用状況</p> <p>スマホ、携帯電話を使用した経験がある児童は、低学年までで約半数にのぼる。参加メンバーの各ご家庭の使用環境をヒヤリングした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内のみ限定で使用させている。 ・必要性がない(塾、習い事していない為)家庭環境の為、持たせていない。 ・持たせてはいないが、持たせることに対してダメとは考えていない。 ・本人に、使い方に対して信用を持っていると言い聞かせて持たせている。それによって、自己規制がかかると考えている。 ・持たせていない。但し、親のスマホは見せる場合がある。検索したいものがあれば、親が代わりに操作し、その画面をみせる。 ・親のスマホを使わせているが、特に何もルールを設けていない。 ・家庭内のみ使用している。(ルール有：22時まで使用可。寝床に持ち込ませない。) <p>(質問) なぜスマホ、携帯電話を持たせることに制限をもうけているのか?</p> <p>(回答) ・児童が訳が分からず操作して、勝手に注文されていた事例もある。 ・興味があるサイトでは時間を忘れて見続けてしまう。 ・ゲームにのめり込んでしまう。 上記のような事例より、スマホにフィルターを掛けて閲覧サイトに制限を設けたり使用時間の制限を設けたり、もしスマホを持たせるなら各家庭で子供と相談してルールを決めることが望ましい。</p>				
<p>② かけこみ110番</p> <p>「かけこみ110番」の位置を児童により多く展開する為にどのような策を取っているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かけこみ110番」を依頼しているご家庭は、何処も協力的で子供達と話をしたい年配者が多いと感じる。地域的に店舗が多い。 ・協力的であるが、高齢化を理由に断られることもある。 ・引取り訓練時に「かけこみ110番」の家を確認させている。 				

- ・引取り訓練時に「かけこみ110番」の家を確認させている。
- ・ウォークラリー・・・ゲームを織り交ぜながら確認させる。(この方法が多い)
- ・古い「かけこみ110番」プレートは交換しているので目には留まると思われる。中には、設置場所が分かりにくいご家庭もある。
- ・防犯ボランティアの方に、登下校時に危険箇所にも立ってもらっている。定期的にそのボランティアの方々と面談し、助言を頂いている。
- ・防災キャンプを実施(地震体験等)。同時にウォークラリーを実施。「かけこみ110番」のプレートに予めシールを設置し、そのシールを多く集めた児童にプレゼントを渡している。

(質問) 新規で「かけこみ110番」を依頼する方法はどうしているか?

(回答) ・依頼する上で、そのご家庭の人柄は重要な要素。
行き当たりばったりで依頼するのは、リスクがある。
例えば、各地域で祭りや体育イベントの後に、慰労会がある。
そういう酒の席で依頼した。
イベントと慰労会を繰返し参加することで、お互いが打ち解けて依頼しやすかった。

③ 自転車の乗り方・講習会

自転車の乗り方について各校の指導状況を確認

- ・3年生、4年生のみ学校行事として自転車講習会を実施。(4年生のみ実施している学校もあり)
- ・「交通リーダーと語る会」で交通KYTを実施。
- ・小学生の自転車の乗り方違反者は、赤切符を切られ、2回目で親が警察に呼ばれる。指導は重要。(違反：一旦停止、ヘルメット等)

(助言者) 宮川校長

子供の安全、安心面は学校だけではとても対応しきれない。

地域の方々に協力してもらい、サポートしてもらい、

地域全体がチームとして助け合うことが重要である。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	14名
部会名	生活指導部小学校B		助言者	稲岡 千史(南小校長)
司会者	吉村 直也(須津小)		記録者	志田 好久(岩松中)
テーマ				
<ul style="list-style-type: none"> ① 下校時の安全活動について ② かけこみ110番の家について ③ 携帯・スマホについての活動 				
会議概要				
①下校時の安全活動について				
登校時は、PTAで旗振りやあいさつ運動などを行っているが下校時は、各町内の委員の方やボランティアの方が危険ヶ所を見廻って頂いている地区があったり、見守り隊というボランティアの方に任せている。				
問題点としては、下校時間が諸事情により、急に変更になる場合があるので、その時が困る。				
見守り隊の方の希望として、下校時のスケジュールを教えてください。				
②かけこみ110番の家について				
かけこみ110番プレートの破損や汚れの点検の際、必ず家に居るのかを確認しているかの質問がありました。抑止力でプレートを掲げてもらっている学校もある。				
問題点として、掲げて頂く家の軒数を増やす事は難しいが、デイサービス等、事務所にお問い合わせすると協力していただける。				
又、子ども達にプレートをどの様に周知徹底しているのかとの疑問には、プレートの配置図を配布したり、ウォークラリーを行ったりして確認を行っている学校もある。				
③携帯・スマホについての活動				
携帯電話やスマートホンの使い方やルールについて、中学校の入学説明会やPTA総会などで先生やPTA会長から説明等を行っている。				
家でのルールを決める事は大切ではあるが、親子のコミュニケーションが大事である。				
フィルタリングや使用制限をする等、子供に持たせる前に親が知らなくてはならない事がある。				

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	17名
部会名	生活指導部(中学の部)	助言者	増田 智昭 吉原二中校長	
司会者	豊田 愛 鷹岡中PTA会長	記録者	江村 輝彦 岳陽中PTA会長	
テーマ 1 地区懇談会、学年懇談会について 2 夜間巡視、パトロールについて 3 あいさつ運動について				
会議概要				
1 地区懇談会、学年懇談会について				
<p>現在、市内で地区懇談会を実施している学校は田子浦中と鷹岡中の2校、学年懇談会は須津中と富士南中の2校となっている。</p> <p>そもそも、「保護者は学校での子供たちの様子を知りたい」「先生は家庭での生徒たちの様子を知りたい」「地域の方々も地域の子供たちのことを知りたい」というニーズがある。地区懇談会を実施することにより、保護者や先生方、地区役員の皆さんと生徒たちに関する情報を共有することができ、特に地区の役員等が学校の活動に対して理解を深めていただけているとのこと。</p> <p>また、以前は地区懇談会を実施していたものの、参加者が集まらず止めてしまった学校が多いようだが、懇談会に合わせて健康教室や林間学校等のスライド報告などを実施したところ参加者が増えたとの事例も報告された。</p>				
2 夜間巡視、パトロールについて				
<p>県下一斉パトロールはもちろんのこと、ほとんどの学校で地区のお祭りなどの際に夜間巡視やパトロールを実施しているため、3班に分かれてグループワークで各校の取組状況や問題点が話し合われた。</p> <p>議論の中で浮き彫りになった案件として、生徒の帰宅時間が不明確であることが課題に挙げられた。地区のお祭りでは各校で帰宅時間を設定しているようだが、祇園祭や毘沙門天祭、富士まつりなど市内全域から中学生が集まるような場合は、全市的に帰宅時間を徹底すべきとの意見が出た。</p>				
3 あいさつ運動について				
<p>あいさつ運動を実施している学校は、17校中9校。特徴的な取組として、元吉原中の「小中合同あいさつ運動」、岳陽中の「ハイタッチあいさつ運動」、富士川一中の「交通安全あいさつ運動」などが紹介</p>				

された。

課題として、荒天などで急遽、活動が中止の場合の連絡方法が挙げられた。その中で「まちコミ」を活用している学校は、無料で登録が簡単、メール発送の対象が何パターンにも細分化できるなどの利便性が高いことから大部分の保護者が使っており、「まちコミ」で即時情報を送り、ほとんどトラブルがないとの報告があった。

4 まとめ

助言者の増田校長から、携帯やスマホ所有率の低年齢化問題、前任校でのインターネットトラブルを管理会社や警察と連携して解決を図った事案、優良校の複数の生徒が携帯で他校とマイナス面で繋がり、夏休み明けに一気に荒れていった事例などが紹介された。

最後に、「この研修を通して得た情報を広く共有し、改善に向けて行動していこう！」と、参加者同士で確認し、分科会を終えた。

1校は読み聞かせは実施していなかった。

ボランティアさんの募集は年度初めに実施され、地域の方とPの母親が大半であった。人手不足の時等、保護者の繋がりで吉原工業高校の生徒に実施してもらった学校もあった。

(4) リサイクル学用品バザー

1校(青葉台小)実施していた。制服、体操着、上履き等、こんなものが売れるのと感じる物も売れる。特に6年生は後1年間と言うこともあり新品購入はもったいないとの考え。

今後、各学校ともにバザーにリサイクル学用品を取り入れていくものと思われる。

(5) 持久走記録会のお菓子

お菓子6校、飲み物(ココア)1校、ネーム用マジック1校、配布無し6校と半数以上が何らかの物を配布していた。一昨年までトン汁を配布して学校もあったが、お菓子の詰め合わせに変更を
していた。配布無しの理由の一つとして食べ物は児童のアレルギー反応の問題もあり止めている。

サイコロキャラメルが販売中止となり、学用品に変える学校も増えると考えられる。

3 議事録(主な発言)

(1) 自己紹介の後に活動紹介や研修会で知りたいことを発表

・親子学習会ではどのような行事をしているか。ベルマークの収益でドッチボールや縄跳び等の物品を購入している。〔吉原小〕

・教育講演会について、何か良いアイデアがあれば参考にしたい。〔今泉小〕

・行事を開催しても参加者がいつも同じ顔ぶれ。たくさんの保護者に参加してもらいたいと感じている。〔伝法小〕

・各学校ではコサージュ作りをどのように行っているのか知りたい。〔神戸小〕

・栄養士さんに講和をしていただく給食試食会を実施している。コサージュ作りについて知りたい。〔元吉原小〕

・給食試食会では、二種類のメニューから選択できるようにしている。〔東小〕

・絵本の読み聞かせをしていただくボランティアさん集めに苦労している。〔吉永小〕

・体操着や制服などのリサイクル品のバザーをどのように実施しているか。〔原田小〕

・お茶の生産地域のため、親子でお茶を楽しむ会を行っている。コサージュ作りは保護者による手作り品から外注品に変えた。〔大淵一小〕

・保護者(父母)と教職員と語る会を実施している。コサージュ作りは実施していない。〔富士見台小〕

・親子学習会では味噌づくりがとても好評。持久走記録会のお菓子はどのような物にしているか。バザーでは中学の制服などサイズが不明な物は残ってしまう。〔青葉台小〕

【お詫び】須津小さん、大淵二小さん記録できませんでした。申し訳ありません。

(2) コサージュ作り

・毎年2月の学校行事の際に協力者を募集し手作りしている。困っていることはない。〔伝法小〕

・部品(パーツ)のセット品を購入し、授業参観の後に6年生の保護者が手作りしている。担任の先生から外注する提案があったが手作りとした。〔神戸小〕

<ul style="list-style-type: none"> ・役員の他に6年生の保護者を募集し手作りしている。昨年から収納ケース（黒い台）も用意し、メッセージも入れ好評である。保護者が参加出来ない児童の分は役員が作成している。専門店（インスタイル）へインターネットで注文（花は3種類）している。間際になると品切れになるため早めに注文している。価格は1個当たり250～300円程度で収納ケース代は別。〔元吉原小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・以前は手作りであったが、手直しが大変で2年前から専門店（花時計）に制作まで含め7月に注文している。事前に注文するサンプル品を確認してから正式に注文。先生方の分も含め注文し、入学式でも使用する先生もいる。収納ケース付きで学校（校舎）の写真ラベルを貼りつけた。価格は1個当たり330～350円程度（造花230円、ケース94円）でバザーの収益金で購入している。〔青葉台小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・専門店（花時計）で造花を選びお店の方に作ってもらっている。100円ショップやパッケージラザで安価な収納ケースを購入し、授業参観の後に収納した。〔原田小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・専門店（花時計）で部品（パーツ）を選び購入し、6年生の保護者と役員で手作りした。ケース等はなし。〔東小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生が全て手配（完成品を外注）している。〔吉原小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年まで部品（パーツ）を購入し手作りしていたが手直しが大変なため、専門店（花時計）に完成品（@250円）を注文している。11月に注文し2月に納品。収納ケース（90円程度）はネットで購入。外注品は出来栄えが違う。〔今泉小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・1個当たり400円（花250円+ケース+写真）かすみ草がボロボロし手直しをした。〔神戸小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・外注品、ケースはなし。〔須津小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・外注品、10月に発注している。〔吉永一小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・外注品、7月に選び10月に発注。大人でも使える物を選んでいる。ケースと手紙付きで1個当たり300円台。〔吉永二小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・手作りでは出来栄えに差が出るため外注している。10月に発注（早期割引あり）ケースに富士山のラベルを貼り付けた。1個当たり300円程度、持久走大会の飴の配布を止め、その予算を加算した。〔大淵一小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が小人数のため、先生の分も含め保護者が手作りしている。1個300円位。〔大淵二小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・恐らく学校で全て発注し用意していると思う。〔富士見台小〕
<p>(3) 親子講習会</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・7月にサイエンスショー（講師：サイエンスプロジェクト）を開催（3年連続）。1時間程度のショーで120名程参加。講師料は3万円。〔吉原小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・成人教育部と共同開催している。3年前に羊のオブジェ作り、去年はジャズシンガーによる演奏会、今年は味噌づくりを予定している。親子50組で費用は1組2,600円（個人負担1,600円補助金1,000円）〔今泉小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・静岡ガスのエコクッキング教室や富士川楽座の出前講座もある。富士市役所環境総務課に相談する等し、自然のもので遊ぶことも良いのでは。〔助言者〕
<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室は使用できる調理器具や開催時間によってメニューが限定される。20～30人程度の開催となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・去年は体育館で味噌づくりを行った。富士市柳島の深澤商店（富士一妙味 深澤秀王商店）に出前講師をお願いし、親子70組を2部制で開催した。作る味噌の量は2kgで費用は樽込みで、個人負担1,500円。当日キャンセルの心配もあったが当日集金とした。とても美味しく出来上がり好評なので今年も実施する。過去にうどん作りも行ったが、粉の片づけが大変であった。〔青葉台小〕
<p>(4) 読み聞かせの実施とボランティアの募集</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアさん+年度初めに支援保護者を募集 20回/年 〔吉原小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに学校が協力者を募集 〔今泉小〕
<ul style="list-style-type: none"> ・P（保護者）はノータッチで学校が全て手配 〔神戸小・元吉原小〕

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	18名
部会名	副会長の部(小B)	助言者	仁藤 雅子(岩松小)	
司会者	高林 信作(神戸小)	記録者	望月 基秀(大淵第二小)	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選出方法 ・役割、役員の人メンタルへの配慮方法 				
<p>会議概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介及び各校状況報告。 2. テーマに基づき各校より意見を発表。 <p>吉原小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長は5名。役員選出方法は、理事・各部ごと新しいメンバーを選出して決めている。 ・役員決めについては知り合いを通じて推薦されることが多い。 <p>今泉小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長は4名。役員選出方法は、町内ごと輪番制。4・5年前から10年後まで決まっている。 ・次年度会長になる副会長(任期は2年)の為、選出は、6年生の保護者は該当しない。 ・くじ引きは良くないと思い、引き受けた。 ・PTA活動をみえる化をすれば、実施活動が分かりやすく役員選出時も決めやすいと思う。 ・体育保健部のレクリエーション(夜間の肝試しは先生がお化け役)を行い、好評でした。 <p>伝法小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長は2名。総務会役員にて1本釣り。ここ2・3年は輪番制にしてはどうかと意見が出ている。 ・役員の人メンタルへの配慮は、役員会で話せないことは飲み会を開いて、和みながら話をする。 <p>神戸小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長(会長補佐+部長付)は6名。役職は会長補佐。会長補佐 → 会長 → 顧問と任期は3年間。 ・役員選出方法は、その時の会長が選出方法を定める。1本釣り・立候補・推薦・投票など。 <p>元吉原小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長は4名。役職は副会長(筆頭)生徒数が減少しているので困っている。 ・役員選出方法は、5町内の輪番制。任期3年の為、3年生の保護者から選出。(話し合い・ジャンケン) <p>東小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長は、会長・顧問と任期が2年。生徒数が少ない為、個々の意識が高く、活動には積極的に参加。 ・まちづくりセンターに4・5・6年生の保護者を集め、部長・会長を決める。 (最終的には、あみだにて選出。) 				

須津小

- ・副会長は3名。(家庭教育委員含む。)任期は2年。専門部長が繰り上がり、副会長となる。1年目は専門部の役員として活動。2年目は、会長もしくは、各専門部の補佐的な役割。
- ・役員選出方法は、町内ごと表があり割り振られている。選出は町内で決めてもらう。(くじ引き)
- ・次期会長の選出方法は、会長+副会長(4名)で酒を飲みながら話し合いで決める。

吉永第一小

- ・役員選出方法は、すでに数年先まで決まっている。支部長を決める時は、くじ引きにて決定。副部長と副会長を兼任してやるように来年度は考えている。
- ・地域的に特殊で、児童が中学生に上がる時2校に分かれてしまう為、児童に良い環境とは言えない。
- ・メンタルの配慮としては、年3回飲み会を行っている。言いたいことを言えるよう、頭ごなしに「だめだ」と言わず、意見を言える環境を作っている。

吉永第二小

- ・次年度会長になる副会長。一年間、会長の補佐をして次年度への準備期間。
- ・役員選出方法は、町内ごと持ち回りで、数年先まで決まっている。町内で役員を決める時に人数が少ない為、同じ顔ぶれになってしまう。(新しい人材がない。)
- ・メンタルの配慮としては、飲みに行く。ただし、女性の会長として3代目ではあるが、強制されると家事・子供の世話等あるので、困ることがある。

原田小

- ・次年度会長になる副会長。一年間、会長の補佐をして次年度への準備期間。
- ・役員選出方法は輪番制で4地区から選出。その地区の5年生の保護者より副会長を決める。例年は、話し合いで決まらないうとくじ引きだったが、奥さんが出席していた為くじ引きは良くないと思ひ、奥さんが立候補して旦那さんが副会長になった。

大淵第一小

- ・副会長は5名。(父親委員会が存在する。)
- ・役員選出方法は、1本釣り。ジャンケンやくじ引きはNG。現会長が、次期会長として相応しい人に声を掛ける。部長を決める時も同様。(同一人物になる時があるので困るところ。)
- ・役割としては、会長の思い・やりたいことをバックアップし、実現できるようサポートする。

大淵第二小

- ・次年度会長になる副会長。一年間、会長の補佐をして次年度への準備期間。
- ・役員選出方法は、一本釣り。今年度会則を変え次年度より、5年生の保護者から会長を選出するように変更した。(児童数減少の為、末っ子が居ても上の子が5年生の保護者より選出するよう規約を変更。)
- ・会長職の時に、自分の最後の子供と小学校を卒業できるのが理想。
- ・メンタルの配慮としては、会長が飲みに行くと言ったら即実行。

富士見台小

- ・次年度会長になる副会長。一年間、会長の補佐をして次年度への準備期間。
- ・役員選出方法は、5ブロックより部長を1人出し、会長は立候補・話し合い・抽選で決める。
- ・児童数の多い町内・少ない町内とさまざまなので、町内が噛合っていない所がある。
- ・新しい学区なので、地域との交流があまりなく、淡々とPTA活動している状態で、悩んでいる。

青葉台小

- 会長付副会長 2名。一年間、会長の補佐をして次年度への準備期間。会合は分担して出席する。
- 役員選出方法は1本釣り。(8月にお祭りがあるので、そこで会長が選出)
ローテーションカードがあり、部長・副会長を町内ごと選出する。
専門部から会長になる方法を、現在検討中。
- 学校行事に携わっているので、PTA活動は楽しく、やりがいがある。

助言者 仁藤校長先生より

PTA役員。その中でも、長になると活動が大変です。

各学校単位での役員選出方法は、1本釣り・輪番制など色々ありますが、どれがベストな選出方法なのか、答えは無いのが現状です。

役員選出には、皆さん苦勞すると思います。

役員として選出された皆さんが、年間の行事活動を計画的に行い、自分のやりがい・地域及び保護者の方々との交流を通じて、本年度末にPTA活動をやって良かった・楽しかったと思える一年にして下さい。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	19名
部会名	副会長の部(中)		助言者	篠原 主司(富士中)
司会者	西川 晃央(吉原二中)		記録者	相原 健一(須津中)
<p>テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「PTA 活動の内容」について 2. 「役員選出方法」について 3. 「副会長の役割」について 				
会議概要				
1. 「PTA 活動」について				
①□ 16校中7校が、他の小学校等との合同行事を行っている。				
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会やコンサート、懇談会を開催、レクリエーションとして、ソフトバレー大会を開催 等。 ・親睦を図ることを目的とした合同活動であるが、例年、人が集まらないことが課題。 ・予算が少なく、講演する人を選出することが大変であり、これが課題。 ・反面、ソフトバレー等は、地域性もあるかもしれないが、人が集まる種目。ただし、怪我が多く、PTA 保険・外部保険を適用。独自にルール作りをすることが大事。 				
②その他活動として				
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動、リサイクル活動、運動会、バザーへの出店、バザーの開催、献血活動、地元祭りへの出店、合唱コンクールの審査、食育教室、祭りのパトロール、各種スポーツ大会(バレー、ソフトバレー)等を行っている。 ・2~3ヶ月に1回、天文クラブを開催。星の観察を通し、地域の人との交流を行っている。 ・例年行事として、長野ヘリンゴの花摘みを行っている。今年で32年目。PTAに収入が入ってこないが、今後検討したい。 ・各校とも、PTA活動を通して、学校、生徒、保護者、地域の方々との交流を行うことが目的。 ・活動費の予算が少ないことが課題ともあったが、リサイクル活動に力を入れ少しでも予算を増やす努力を行っている地区もある。 ・その他の課題として、1年間の役員であるため、新しいことが中々出来ないという課題もある。 				

2. 「役員選出方法」について

- ・副会長 → 会長 → 顧問の3期
- ・専門部長 → 会長・副会長 の2期 (会長のみ3期)
- ・専門副部長 → 専門部長 → 会長・会長補佐 の3期
- ・仲間内で役員を回す地区や、役員が口説いて選任する地区、地区毎に輪番制、くじ引き 等、様々である。
- ・課題として、どの地区もやり手がいないこと。
- ・その反面、中には立候補をとっている地区もある。

3. 「副会長の役割」について

- ・殆どの地区が、会長のサポートと回答。
- ・その他として、地区の会合出席や、専門部のサポートとの回答。

4. その他 (助言者より)

- ・会合等で、「良いこと・悪いこと」を含めて情報を発信すること。
- ・学校への「良きクレーマー」であって欲しいこと。
- ・学校・家庭だけではなく、地域を含めて活動し、関心を持って欲しいこと。
- ・学校への遠慮はいらないこと。
- ・PTA活動を楽しむこと！

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	15名
部会名	成人教育部(小A)	助言者	中村弘志(吉永二小)	
司会者	鈴木英正(元吉原小)	記録者	植田和春(岩松小)	
<p>テーマ</p> <p>1、PTA新聞(会報)</p> <p>2、合同事業について</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>司会者の提案により、各校順番に自己紹介と活動の内容を発表し、お互いに意見交換を行った。</p>				
<p>1、PTA新聞(会報)を製作するにあたり、どのような事に気をつけているか?</p>				
<p>2、どのように工夫して、良い新聞を作っているのか?</p>				
<p>1答、会員の個人情報とプライバシーを守るため、事前に会員に新聞への写真掲載の承諾をもらう。</p>				
<p>2答、第1号のPTA新聞で各教職員の顔写真・名前とインタビューなどをして、人柄を紹介した。(保護者から先生の顔や名前が覚え易いと好評でした。)</p>				
<p>1、合同事業を3校で行っている為、予算が限られるので、講師が呼びにくい。</p>				
<p>2、3校合同の講演会で予算を増やす為、3年に1度開催しているが、次の幹事校への引継ぎが難しい。</p>				
<p>3、合同講習会で集客が難しく、予定の人数に達しない時がある。</p>				
<p>1答、3校と地域の生涯学習推進会の2団体で5団体の合同講演会を行っており、毎年の予算が確保できる。</p>				
<p>2答、前回の幹事校から資料を貰う・次回幹事校は、活動に参加をし、事前に内容を把握し備える。</p>				
<p>3答、知名度の高い講師に頼むと集客がしやすい。 テレビ寺子屋などに頼むと知名度の高い講師が来る(講演料が無料)</p>				
<p>答(その他1)、防犯クイズラリーを校内にブースとして設ける・ (「校内ブース」を「駆け込み110番の家」に置き換えて、地域ぐるでのクイズラリーも検討中)</p>				
<p>答(その他2)、夏はお化け屋敷、冬はドンド焼きをしている。</p>				
<p>答(その他3)、静岡ガスと共同で化学遊びを行っている。 (花を液体窒素で凍らせる・・・など)</p>				

総括（助言者）

P T A新聞（会報）では、会員の個人情報取り扱いには慎重にし
プライバシーは守らなければならない。

合同事業での企業との共同活動では、純粋な社会貢献かを慎重に見極める。
（営業色・営利目的ではないか等）

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	17名
部会名	成人教育部(小B)	助言者	原田小学校 岡島 克己	
司会者	東小学校PTA 鈴木 進	記録者	鷹岡小学校PTA 一条 義浩	
テーマ PTA新聞についてほか				
会議概要				
① PTA新聞について				
◇年度当初発行の新聞は、〔入学式〕に関わるものや〔教職員紹介〕など、大抵同じような記事(マンネリ化)が多い傾向にあるが、独自の考察による記事を掲載しているところはあるか?				
⇒『親から子へのメッセージ』(東小)・・・小規模ならではの温もり				
⇒『間違い探しクイズ』(原田小)・・・楽しみにしている(読んでいる)子どもも少なからずいる				
◇個人情報保護が厳しく叫ばれる中、写真掲載や編集に工夫を凝らしているPTAも				
◇発行頻度や予算の問題・・・年2回～3回が主流。予算が限られる中、部員が編集ソフトの活用などにより編集に携ったり、地区内に限らずインターネットで格安の印刷業者を探している				
◇実質的にどの位の人数で携わっているか・・・部長、副部長等が一人責任を持つ形が多い				
② (『新聞』以外の) 事業について				
◇『ブルーベリー摘みとスイーツづくり』『しめ縄づくり』(大淵一小) ・・・地域性を活かした事業(実費負担)				
◇手づくりの『サイエンスショー』(伝法小)・・・予算が限られる中、部員自らが講師となって演出				
◇『滝川ふれあい講座』(原田小)・・・川の清掃活動や専門家による生態系の学習会				
◇『ブックフリーマーケット』(富士見台小)・・・凶書の交換会の実施 450冊出展の実績も				
③ (2月開催の『PTAのつどい』時)の壁新聞の制作について				
◇優秀賞を目指して(!?)複数日に亘って制作会議を実施したり、事前に同じサイズの台紙を準備して、早々に制作しているPTAも				
④助言者である岡島先生より、成人教育部の定義(在り方)として、『保護者の教養および見識、教育へ				

の理解を深めることを目的とする』との見解が示された。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	20名
部会名	成人教育部 中学の部	助言者	渡邊 俊洋(田子浦中 校長)	
司会者	宇野 篤哉(吉原北中)	記録者	小山 弘史(富士南中)	
テーマ				
PTA新聞・講演会・合同事業について				
会議概要				
<p><PTA新聞について> 各学校で作成したPTA新聞を参照しながら、意見交換を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞作成の際、費用を削減させる為に、業者を使わず自校で作成する。 ・部長・副部長がほとんど作成に関与してしまう為、部員の仕事が少なくなってしまう。 ・学年毎、部員へ作業を振り分け、うまくやっている。 ・写真撮影の範囲が難しい(どの程度載せていいのかが分からない)。 ・部活動紹介を載せるタイミングが分からない(中体連の前か後か)。 <p style="text-align: center;">e t c. いろんな意見がでた。</p>				
<p><合同事業・講演会について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマや講師、金額設定が難しい。 ・寺子屋は無料でいいが、いろんな制限がある為、難しい。 ・毎年やる必要があるのか、分からない(数年に1回で、予算を増やすなど)。 ・参加人数の増やし方が苦勞する。 ・静岡県出版文化会から講師を選定している。 				
<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部員全員が入れ替わると、新聞作成等が難しい。 				

<渡邊校長からの助言>

- ・新聞に載せる写真は、学校から提供してもらってもよいのではないか。
- ・パソコンの操作が分からなければ、部会で、パソコン教室等の勉強会を開催してみてもよい。
- ・講演会等を実施する際、まちづくりセンターで聞いてみてもよい。

以上

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	13名
部会名	体育保健部(小A)	助言者	遠藤勝秋(東小 校長)	
司会者	前嶋辰也(天間小)	記録者	伊藤秀彦(丘小)	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ事業の参加者募集について ・保健の領域の事業について ・運動会におけるモラルに関して ・その他 				
<p>会議概要</p>				
<p><スポーツ事業の参加者募集について></p>				
<p>① 親睦会などを通じて参加のお願いなどを行っている。②景品などを用意している。③終了後にアンケートを行い、次年度に行いたい競技を聞き取っている。④案内文以外にも、まちコミメールなどを使用したらどうか。⑤地元の生涯学習の方と共同で行っている(その結果、こちらの意向が通りにくい)</p>				
<p><保健の領域の事業について></p>				
<p>① 地元のお祭りの際に、身長、体重、握力測定を行って景品を出している。②親子料理教室をエネリア(静岡ガス)の協力の元行っている(エコクッキング)③AEDの講習会を行った。④薬学(麻薬など)の講習を行ったらどうか。⑤適切な運動量や運動方法を学ぶ講習を受けたい。</p>				
<p><運動会におけるモラルに関して></p>				
<p>① 駐車場禁止に関しては、特別に看板を作成して各所に設置して見張りもつけている。②前日、駐車場を含め、運動会におけるマナーについてまちコミメールで注意喚起する。③障害者とご年配の方には校内の駐車場の許可証を発行している。④近所の自動車学校のご好意で保護者の駐車場として敷地を開放していただいている。⑤グラウンド内に関しては、インカムを使って本部と連携を取り合っている。</p>				
<p>⑥グラウンド内でマナーが悪い方には、なるべく男性スタッフが対応している。⑦マナー向上のため、喫煙場所を無くした。⑧運動会の協力は一つの部会だと限界があるので、PTA全体で行う必要があり、本部責任者として会長が指揮とすべきではないだろうか。</p>				

<その他>

① 親子レクリエーションを行うとき、親がスポーツをしている時に子どもの対応に苦労している。

② スポーツ事業を三校合同で競い合って交流を深めている。

③ 参加型のスポーツ事業として、ソフトバレー、キンボール、インディアカ、ドッジビーなど。

④ 運動会の PTA 種目は、玉入れ、メディシングボールなど。親と子どもで綱引きを競い、勝ったら

〇〇をして欲しい、という公約を最初に言い合うような演出も面白いのではないか。

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	14名
部会名	体育保健部(小B)	助言者	小野 賀雄(丘小)	
司会者	山口 和男(富士二小)	記録者	古田 竜也(富士見台小)	
テーマ	各校の体育保健部としての取り組み、課題			
会議概要				
① 【各校部長の自己紹介、及び学校アピール】				
吉原、今泉、伝法、神戸、元吉原、東、須津、吉永第一、吉永第二、原田、大淵第一、大淵第二、富士見台、青葉台				
② 【各校スポーツ行事内容】				
1) ソフトバレー(3校合同で行っている学校もある)。				
2) 地域の方々も含めたナイトウォークの実施。				
3) キンボール、マラソン大会、グランドゴルフ。				
4) ビーチバレー大会、ドッジビー大会。				
5) 中学校も含めたスポーツレクリエーションの実施(玉入れ)。				
6) 3校合同での球技大会の実施(PTA 枠を設けている)。				
7) 運動会での保護者枠、PTA 枠の種目を入れて一体感を持たせて行っている。				
8) 保健体育の一環で、各校、AED 講習を実践している・・・各校、認識が高い。				
③ 【各校スポーツ行事の問題点】				
1) 喫煙場(運動会等)・・・学校側と相談して明確な場所設置を確保していく(又は禁煙にする)。				
2) 場所取り(運動会等)・・・場所取りの開始時間を決める(ルール化)。				
3) 駐車場(運動会等)・・・事前に参加方法を保護者に連絡(配布)する。				
4) 飲酒・・・禁酒(ルール化)。				
5) 球技大会での人数確保・・・種目の変更等実施。				
6) 親子レク大会でのマンネリ化・・・種目の変更等実施。				
7) スポーツ大会の賞品・・・今後も気持ちよく参加できるように豪華な物に変更したい(予算確保)				

平成28年度富士市PTA副会長・専門部長研修会
分科会会議記録簿

平成28年6月26日(日)	会場	富士市立広見小学校	参加者数	16名
部会名	体育保健部(中)		助言者	磯野和彦(吉原東中)
司会者	望月 輝久(吉原三中)		記録者	小野 金哉(大淵中)
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 親睦球技大会の種目 ② 運動会のPTA種目・協力 ③ 普通救命講習 ④ 役員の選出 ⑤ 行事への参加人数 ⑥ その他 				
<p>会議概要</p>				
<p>① 親睦球技大会の種目</p>				
<p>・ソフトバレーボール ・ファミリーバドミントン ・インディアカ ・キンボール</p>				
<p>※各校の種目は以上ですが、一羽の尾勝ったスポーツはソフトバレーボールでした。各校ルール等を検討し、皆で楽しめるよう工夫しているようです。</p>				
<p>② 運動会のPTA種目・協力</p>				
<p>・綱引き</p>				
<p>※16校中15校が綱引きでした。3年生の男子対父親、3年生女子対母親等各校対戦に工夫しているようです。</p>				
<p>・協力としては、当日の役員駐車場や駐輪係が多いようですが、一般の駐車場の用意や誘導等行うのは地域的に大淵中だけのようで、中学周辺の公共施設に協力を要請し、駐車場をお借りしているとのことでした。</p>				
<p>③ 普通救急救命講習</p>				
<p>・何校か普通救急救命講習を開催していますが、他にAED講習や、JRCに三角巾の使用方法を習う等、各校いろいろ工夫されているようで、秋の球技大会を普通救急救命講習に変更した中学もあるようです。近年事故や事件、また震災等子どもたちを取り巻く環境に意識を持つことが大切なようです。また、最近の子どもたちも、このような講習は積極的に参加されているようです。</p>				
<p>④ 役員の選出</p>				
<p>連絡の手紙等に、イラストを入れたりして工夫し興味を持っていただくようにする。</p>				

・ LINE やメールで再度募集要請をする。

・ 地域の方々にも協力要請する。

・ 富士市スポーツ推進委員と協力し、地域の行事に中学の PTA として参加したり、中学の行事にも協力してもらおう。

・ 毎年のことですが、参加人数の確保は、役員として、大変苦勞されることと思います。子どもたちの部活動等を配慮して日程を決めたり...、大変ですが、各校色々工夫して盛り上げてください。

その他

助言者の校長先生より、色々話を伺いました。

その中で、今 TV 等で話題になっている組み体操や百足競争の話もしていただきました。組み体操は、高さが問題になるので、3 段以上は組んではいけないとか、百足競争は、足を結んで 20 人以上繋がってはいけないとか、県や市から指針が出ているようです。参加された各校の体育保健部の部長さんたちこれからの活動に役立つ話を伺うことができました。 ありがとうございます。

以上です。

<バザー開催>

過去にバザー開催経験のない校区より経験校区へ情報収集要請。

- ・開催時期：体育祭の昼休みや文化祭等参加者の多い行事で開催。
- ・制服バザー：人気バザーではあるが制服集めに苦勞している校区が多い。
- ・問題点：売れ残り→対策：地区祭り等へ提供。福袋形式でセット販売。

<給食試食会>

各校区で共通している問題点は参加人数の確保であり対応策の情報交換を実施。

- ・授業参観日の参観時間を午後一にして試食会と組み合わせる。
- ・試食会のメニューを魅力あるものにする（開催案内にメニューを明記）。
- ・栄養士にメニューの有益性を説明して頂く機会を増やす。

その他

- ・食器数量等の関係上、修学旅行等の行事に合わせて開催する校区がある。
家事負担が軽減されているとも言えるが、一方で生徒がいないことが残念な部分もある。

<家庭教育委員会への名称変更>

今年度より「母親委員会」より「家庭教育委員会」へ名称変更となったが、市P連としては母親の負担を減らすような取り組みを実施しているかの問い合わせあり。

- ・現時点では名称変更の意味合いがその方向にあるとは言い切れないが、近い将来的に各家庭における父親の家庭教育への更なる協力促進を課題としていくことは、大切なことであると思われる。